

23/11/13 中日新聞 取材の裏側
どうする？どうなる？名古屋城木造復元
名古屋市民オンブズマンによるメモ

33人

15:30

司会：はじめる

鈴木記者に担当 なにかと話題の名古屋城木造復元
90分お話

鈴木龍司：ありがとう

中日新聞社会部 市政記者クラブ 名古屋城取材担当
タイトルどうしよう？

歴史・お城 興味持っていると思う

NHK どうする家康 佳境

名古屋城木造復元 出口が見えない状況

課題山積

先日 市民の方 バリアフリー討論会 障害者が差別的発言を浴びる
悲しい出来事

「いつ名古屋城できるの？」 僕自身わからない

誰も答えられない

賛成、反対 エレベーター必要・不要 双方の意見

どちらが正しいではなく、自分の意見を持つには判断材料

違う意見 理解するために情報

僕自身、講座のために勉強した

自己紹介 1982年安城生まれ 名古屋城遠足

大学の友人 名古屋に遊びに来た

子どもと一緒に

中日新聞 2005年入社 尾鷲、三重総局、名古屋経済部、社会部

去年の8月から名古屋市+名古屋城

北区町内会長 町内会長日記

幅広く考える材料 体系立ててわかりやすく

取材は慣れている 話す機会はない

①名古屋城の歴史：歴史に詳しい方が多い

本題は今後

昔、焼失する前の写真

「この城に作り替えよう」

徳川家康 1600年勝利 1603年征夷大將軍

大坂城に豊臣家 徳川家に脅威

1609年命令 清洲越 水害リスク 液状化

1610年 加藤清正、福島 豊臣に近い大名 天下普請

豊臣方の力をそぐ

1612年 木造天守が完成 近代城郭の最高峰

明治政府 陸軍省管轄 取り壊しの危機

宮内省の管轄 名古屋離宮

1930年 名古屋市の管理下 旧国宝1号指定

河村市長「国宝をもう1度」

1945年5月14日 名古屋空襲で焼失

名古屋城に思い入れが多い市民 市民のシンボル、戦後復興の象徴

市民発で名古屋城を立て直そう

1959年 今の名古屋城作り直される

2018年 本丸御殿復元終わる

「尾張名古屋は城でもつ」 天下泰平の世を作りたい

平和の祈り 市民に受け継がれてきたのでは

②木造復元事業

2009年 河村市長初当選 庶民革命 減税、市長の庶民並給料

4期14年

「木造の天守に作り直す」公約

2009年本丸御殿どうするか？ リーマンショック 大不況

再建するかどうかもめている

市民の意見を聞いて判断 本丸御殿は復元しよう

せっかくなら天守も木造が面白い？

「コンクリートではない本物の城を」復元した市民からはどうなのか？

「100年、1000年先の市民の宝に」

「100年、150年後には国宝」

大不況の時代から 夢物語？

2015年 補正予算調査予算 3500万円計上

外観イメージ

当時の内観写真 ガラス乾板写真 5階 1階鉄砲狭間

4階から5階へ

3階階段

なんでこんなに登りにくい急な階段？

権威の象徴 最終的防衛拠点 軍事施設

敵軍の進軍を阻止 内部 階段急にして遅くする

名古屋城の特徴 城は焼失 当時記録資料が豊富

「金城温故録」尾張藩 2代 87年 名古屋城の百科事典

「昭和実測図」

昭和最初に名古屋市管轄 旧国宝

市土木部建築課 大規模な調査 実測 図面として残す

避難で残った 282枚 合計309枚

河村市長「先人がこれだけ史料を残してくれた。

史実に忠実な復元は使命」

「史実に忠実な復元」か「バリアフリー」か

完成はいつ？わかりません

初当選してから14年

家康 3年で築く すごく遅れている

木造復元されるイメージのみ完成

屋根瓦が黒い 銅が変色するとエメラルドグリーン

イメージ図 あの状態を木造で

着工、完成時期は未定

文化庁の許可も出ていない

申請もしていない

③バリアフリー

大きな課題 バリアフリー対策議論

「史実に忠実」か「誰でも登れる城」まともらない

今も議論中

現天守閣：一切中に入れたい 2018年から

天守の耐震性が極めて低い

鉄筋鉄骨コンクリート

外付けエレベーター1基 11人乗り

内部エレベーター2基 23人乗り

「博物館」「観光施設」の位置づけ＝誰でも登れるお城

復元後の木造天守は？

河村市長『史実に忠実』は人類の使命

江戸時代はエレベーター無し

柱や梁を変更せざるを得ない

下のフロア 広い

上が狭い 最上階付近狭い

→観光施設ではなく、国宝を目指す文化財

他の城は？

姫路城 「往時の姿」重視

エレベーターはつけていない

足の不自由な人、ご高齢 外で帰る

文化財の価値を最優先

熊本城

西南戦争で焼け落ち、1960年に鉄筋コンクリートで再建

エレベーターなかった

2016年熊本地震で被災

バリアフリーどうする？6階まで上る専用エレベーター結論

今の時代 公共施設 バリアフリー化は必要

現存している城と、新しく作る城は見解が違う

国宝5城など現存12城 エレベーターなし

戦後再建 エレベーターついている

名古屋城 「史実に忠実」本物と同様 江戸時代そのまま？

次の名古屋城 令和何年 新しく作られる

名古屋城複雑 本物なのか？

最近木造復元 掛川城 エレベーター無し

名古屋城 入口が整理されていない

名古屋の市民がきめていかないと

名古屋市結論 2017年 エレベーター無し

忠実な木造復元へ市方針 階段昇降機

市民リアクション 今も同じ状況

障害者団体「みんなで登れる城でないと困る」

今は登れる 年寄り、子育てベビーカー

要望、抗議集会、デモ 批判

有識者会議 学者「100%史実に忠実でなくてもいい」

公共性、利便性優先

史実は参考にして

エレベーターは地震時に使えない

取材 歴史系になると史実言う人

都市計画、福祉 「ユニバーサルデザイン」

配慮より、もともとある公共空間は誰でも使えるように

議論以前につけるのが当たり前

落としどころは？

河村市長「最新技術を活用し、障害者の皆さんに喜んでもらう」

「史実に忠実」にはこだわり

④新技術は登場するか？

2018年 2022年末までに名古屋市探します

障害者「まず詳細を明らかにすべき」

完成目標 2022年末

次の議論に進めない ごまかしてすり抜ける

議論平行線

市長選当選「これは民意」 僕は信任投票にはならないと思う

2018年 国際コンペ開催へ

車いす型ロボット

車いすが乗降できるはしご車

登場可能なドローン

ぼく個人「なんで自分だけ違う登り方？さらされる？」

2022年4月－8月

パワーアシストスーツ

いす型昇降機

垂直昇降装置

タラップ車

・少なくとも1階まで登れる

・さらなる上層階への移動は「可能な限り」

石垣 地上レベル→天守の建物1階まで

MHI エアロスペースプロダクションが採用

小型垂直昇降機 かご型

航空機、船 コンパクトな機械

通常4人乗り

車いす+介助者2人

どういうイメージ？

「史実に忠実」存在感がある エレベーターがある

わざと色を変えて書いている

板の貼り方 存在感が薄まる？

障害者団体、日弁連 これでは全く足りない

ストレッチャー型は入れない

「バリアフリー対策 一応しましたよ」？

まとまっていない

これから契約を結ぶ 開発 3年間くらいかかる

どういうものになるかわからない

MHI できるだけ上まで設置したい

同じ日 河村市長「1-2階までで合理的配慮と十分に言えるのではないか」

なぜこのタイミング？真意不明

史実に忠実にこだわり続けている

ユニバーサルデザインから乖離

⑤遅れる復元事業

復元は2009年からの念願

最初「2020年までに木造復元」

議会对立 2年間延期

2022年完成を目指す

石垣 文化庁「歴史的価値が高い」

石垣の保全 議論が足りない

東京五輪でお披露目の予定だった

市議会の木造化決定は2017年3月

議会としては認めた状態

河村市長「いつ完成するのか」あせり

ややこしくなる

中日新聞1面 「最短で2032年度」

整備基本計画 どうやって復元しますか？

文化庁復元検討委員会 一般的に2-2年半

石垣調査 約6年半

足すと最低でも2032年

議会の答弁で答えた

河村市長「違う、もっと早くできる」

小型昇降機発表と同じ日

市「22年度中に整備基本計画策定完了、

2023年度前半に文化庁提出方針」

2023年3月7日 「1階まで」の方針示す
市「市長が政治決断で決める」
市民の話聞くべきだ
市民討論会が開かれる

⑥差別発言問題

1階基本方針 市民の意見を聞く

市民無作為 5000人アンケート

討論会あるから来ないか？

前半戦 市が経緯・方針

最終版 市民質問意見受付 主催者が選んでマイク

車いす 70代男性「障害者が排除されているとしか思えない」

口調は冷静

史実に忠実は反対していない

みんなが同じ階に登れるように

100-0にはならない 両方望む

男性A「市長が作りたのはエレベーターも電気もない時代。

どこまで図々しいのか。お前が我慢せえよ」

お城自体に反対というイメージがついている？

男性B 身体的障害ハンデを揶揄差別表現

誰がメンテナンスするの？その税金はもったいない

タイトル なぜ市民討論会？

意見が違う人を黙らせる

すごく寂しいというか、分断される

結論をするのか

障害者、市民から猛抗議

なぜこんな事態になったのか

この討論会に至る経緯 ああいう発言を生んだのでは

その場で言われた人 すごく傷ついた

市民討論会 最終的に市長「1階まで」 ある人 「最終コーナー」

この問題 結論は決められない 先送り

河村市長 謝罪、丁寧に対応する

市 次の議論には移れない

5000人アンケート 小型昇降機設置階数

5階 47.2%半分近く

1階 16.9% 折衷案 河村市長

設置しない 23.4%

市の担当者 予想外 設置しないのが多いのでは？

どうするのか？

バリアフリー化していいか

必要 35.0%

史実に忠実 14.9%

何階まで？どっちもという人が多い

こういう進め方が本質的な議論に進まない

検証委員会 差別発言がなぜ起きたのか

杉野副市長「1年近くかかるだろう」

いったんストップ

記者の目

・「結論ありき」の討論会？

ほとんど日にちがない

・「いる」「いない」分断の構図

さらなる分断

・見えない新技術

何も示せない

・足りないストーリーの議論

どうやって利用するのか

修学旅行の子が来た

小型昇降機 | 基 階段で登れない子が

ほかは階段、行列ができています

バスで行く時間は決まっている

車いす お土産買う時間がない

リアルな議論がないと すごくもったいない

あなたは知っていますか

・内容知っている 14%

・進めていることは知っている 74%

関心がないわけではないが、名古屋城調べる時間がない

知識が深まらない段階で進めると、

「こんな城になったのか」

8割 進めていることは知っている

昭和の城と比べると、機運としてはどうか

⑦市民のお城

1945年5月14日 名古屋空襲

炎上写真

現天守閣（コンクリートのお城）

木造ではなく鉄骨鉄筋造り

コンクリートだから市民の宝ではない？

戦後復興の象徴、平和の象徴

江戸時代 為政者

昭和 市民の声

二度と燃えたり、壊れないように

目標の2倍の2億円（事業費の3分の1）

この思い すごく大事にすべきでは

木造復元に反対ではない

70歳くらい 親の世代 今の城に寄付している

「ニセモノ」と言われると気分が悪い

木造天守はだれのため？なんのため？

文化財？観光施設？

今の時代に作る意味？

後世に何を伝え、残す？

令和の意味はどんな意味があるのか？

1000年先 急に木造復元 それなりの意味

平和でも、木造文化、バリアフリー議論

説明しづらい

バリアフリーに限らず本質的な議論が欠けてきたのでは

史跡、文化財の価値とは？

ポーランド・ワルシャワ歴史地区 1980年世界遺産登録

市民の寄付

全部スケッチ 35000枚資料

同じでも新しいのでは？

歴史的価値ではなく、「破壊からの復元維持への人々の営み」

立ち止まる意味

古いアンケート 木造復元賛成増える傾向

「急がず」5割

立ち止まっても大丈夫では？

1000年の事業

この10年20年 おおらかに構えては

⑧その他の課題

登れないお城の長期化
5年前から閉館
コロナ時代落ち込んだ観光客
城ブーム、インバウンド
今後 入れない城 維持するか
建設費 2017年 竹中工務店 最大505億円
50年間の入場料収入でまかなう予定
それまでは税金
本当に試算通り？
市長「市民から寄付 100億円は集めたい」
昨年度までで7.7億円
物価高、人件費高騰、資材不足
きっと問題になる 膨らむ可能性
木材保管費 年間1億円
遅れれば遅れるほど金
石垣保全は？基本構造は？
天守台石垣 文化庁「名古屋城の価値」
上の建物は昭和 文化財は石垣
調べ切れない
城の中 解体しないとわからない
内部厳しい状態
石垣修繕に時間がかかるのでは
天守の重み どう支えるか
文化庁に計画を出す やって見ないとわからない
上の城ができるまで時間がかかるのでは

まとめ：未来に何を残すか
差別発言 検証が済むまでストップ 当たり前
いつ完成は道筋示せず
なぜ？発言した人だけではない
新技術 情報公開の徹底
「誰のため」「何のため」の木造復元か
「急がば回れ」 完成年度を区切って矛盾 止まる
また同じことが起こるのでは
河村市長「1000年残る」
なぜ令和の城が必要なのか
「分断の城」or「市民の知恵を結集した城」

今のままでは「分断の城」「差別の城」になってしまう
立ち止まって市民の知恵を結集した城
意味のある「停滞」にできるか 前向きにつなげられないか
ただ単に賛成反対、エレベーターありなしではないではない議論を
講座終了

17:03